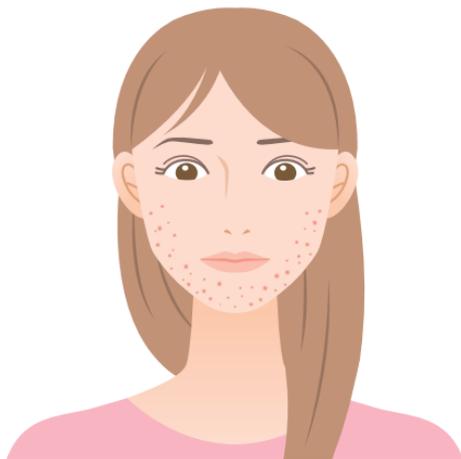


頬やあごににきびが増え、繰り返してきます
状態に合わせた治療を受けることが大切
中野皮膚科クリニック
<http://www.nakano-derma.com/>



大人になってもにきびが白っぽく皮脂がたまった状態を閉鎖面ほう、毛穴が開き、皮脂が酸化して黒っぽくなった状態を開放面ほうといえます。さらに炎症が進むと赤くもなります。にきびは皮脂の分泌が多い思春期に発症しやすい疾患ですが、大人になってもストレスや不規則な生活、睡眠不足、生理前などでホルモンのバランスが崩れるとできやすくなります。どのような治療がありますか？

「毛穴の詰まりを取るアタレン製剤と抗菌作用がある過酸化ベンゾイル製剤を、炎症のある・なしなどにきびの状態を見ながら組み合わせ治療します。いずれも塗り薬で、過酸化ベンゾイル

は2015年に承認された薬です。炎症が強いときは、抗生物質の内服し炎症を抑えます。保険適用の漢方薬も選択肢の一つです。にきび跡の赤みにはレーザー治療を行うことも(自由診療・1部位6000円)。

にきびは放置せず、炎症が悪化する前に治療を行い、治療中は肌を清潔に保つようにしまし

にきびは、思春期は頬や鼻などのTゾーンにできやすく、成人してからはあごや頬などのUゾーンにできやすくなります。



問い合わせ
中野皮膚科クリニック
中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分
TEL03-5342-0722

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	12:00 まで受付
15:00 ~ 18:30	○	○	○	○	○	—

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師